

ASEAN Young Women Leadership Program は、日本とアセアン諸国の女子学生を女性リーダーとして国際貢献できる人材に育成することを目的に城西国際大学主催で実施されているプログラムです。本学から、経営学部の4年 相川陽香さん、2年 町田夕樹さんの2名がプログラムに参加し、フィリピンのサンカルロス大学(2017年3月～10月予定)、ミャンマーのヤンゴン大学(2017年11月～2018年2月予定)で計1年の留学生活を送る予定です。

ASEAN Young Women Leadership Program 第1回レポート

経営学部 4年 相川 陽香
2年 町田 夕樹

フィリピンのセブ島に滞在して1ヶ月が経ち少しずつ生活の基盤ができあがってきました。こちらは、1年を通して暖かい気候なため平均気温25度-30度の中で生活を送っています。紫外線もとても強く日焼け対策をしないとあっという間に日に焼けてしまい、また目が充血してしまいます。しかし、建物の中は驚くほど冷房が効いているため自分で体温調節をしないとすぐ体調を崩してしまいます。どこに行くにも羽織り物は欠かせません。

私たちは、留学先が決まってから出発まで3ヶ月程度で準備を進めてきました。最初は日本食をもっと持ってくればよかったと思っていましたが、車で15分程度の場所にはたくさん日本食レストランがあり私が思っていたより食に困ることはないです。日本食の他にも韓国料理や中華料理、アメリカのファーストフード店もあります。ただ、少し値段が張りますが味はとてもおいしいです。大学の周りや学食は300円もあれば飲み物付きで食事をすることができます。Jollibeeというフィリピンのファーストフードもとても安くおすすめです。

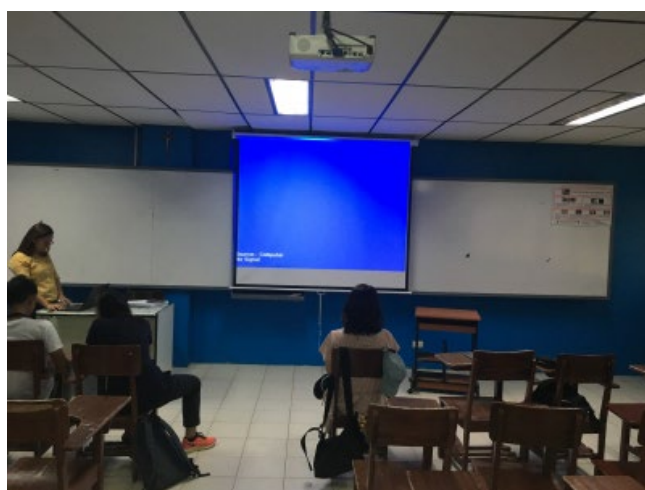


普段は、アパートにある電子レンジと炊飯器で自炊して生活していますがあまりにも外の食事が安くておいしいので頼ってしまうこともあります。果物を日本にいるときよりも食べています。マンゴーやバナナなど南国のフルーツが豊富です。暖かい地域ならではの特権ですね。日用品も特に不自由はないですが1つ挙げるとしたらトイレトペーパーの巻きが緩いので頻繁に買いに行かないといけません。価格も割高です。12ロールで1番安くて250円くらいです。1ヶ月生活を送ってきて日本から薬は持ってきた方がいいと思います。2週間ほど経った時に寒暖差について行けず体調を崩してしまいました。いきなり海外の薬を試すのは怖いのでいつも飲んでる常備薬を持参した方がいいと思います。



私たちは、サンカルロス大学に通っています。14世紀からあるとても歴史あるカトリックの大学です。敷地も広く移動手段は大学専用のジプニー(乗り合いトラック)を使っています。1回10円で乗ることができます。

今は、夏休みの期間のため通常授業ではなくサマークラスという特別授業を受けています。文法をより詳しく学ぶ(Communication Arts)とビジネス文書を書く授業(Business Communication)を受講しています。現地の学生と一緒に授業を受けています。常に英語での授業ですが時々現地のビサヤ語で話す時があるため混乱します。ついて行くのに毎回必死です。頑張ります。周りの友達も優しく話しかけてくれるので授業で分からない時はすぐ頼っています。





夜景スポットもあっておすすめです。

基本フィリピンの人はゆったりしています。時間の流れが遅く20分の遅刻は当たり前です。普段せっかち気質の私にはイラッとくることもあります。がゆったりニコニコしている現地の人のように心にゆとりを持つのも大切だなと思いました。6月からは経営学の観光について学ぶ予定です。1セメスターが始まればもっと友達もできるので楽しみです。